

## 第6章 GPA（グレード・ポイント・アベレージ）

### 1. GPAによる成績評価

GPAとは、Grade Point Average（成績加重平均値）のことで、各科目の評点（100点満点）をグレード・ポイントに換算し直し、これに各科目の単位数を掛け合わせ、その合計を科目の総履修単位数で割ることにより、1単位のグレード・ポイントの平均値を算出したものです。

GPAは、履修登録したすべての科目を対象に算出します。ただし、履修を中止した科目及び認定科目並びに卒業要件対象外の教職科目及び自由科目は、算出対象から除きます。

高校まではすべての学生が同じ教科・科目を履修しますから、単純に成績を比較できました。ところが大学においては、学科の教養科目や専門科目や教職科目など、個々の学生の所属や目標に応じて、履修する科目を選択する自由度が高く、異なる科目を修得した様々な学生を単純に比較することができません。多様な学習環境を持つ大学では「学ぶ量」だけではなく「学ぶ質」を端的に評価できる指標が必要であり、GPAはそれを提供する方法です。専門性や就学目標からくる履修状況の違いを吸収し、公平さを与えながら学業成績評価の指標として使われるものであるといえます。

それだけに、学生一人ひとりにとって、GPAとは自己の学習意欲とその成果を「学ぶ質」の面から客観的に捉えるとともに、今後、勉学意欲を一層かきたてることにもつながります。

※ GPAは、在学留学や奨学金の選考、演習の選考等幅広い分野で活用されます。

### 2. 成績評価基準と GPA の算出方法

〔GPAの算出式について〕

本学のGPA算出式は次のとおりです。

- (1) 得点に応じて5段階（4、3、2、1、0）の数値（グレード・ポイント）を設定します。なお、不合格となった科目、受講を途中でやめるなど出席回数不足のため受験不可となった科目は、すべてグレード・ポイントが0点となります。

卒業非算入科目（卒業要件単位に含まれない科目）は、評価にかかわらずGPA対象外となります（ただし、資格課程科目はGPAの算出対象となります）。

成績評価基準とグレード・ポイント

合 否 評 価	合 格					不 合 格		
	秀	優	良	可	認定※1	試験欠席	受験不可	
得 点	100以下 90以上	90未満 80以上	80未満 70以上	70未満 60以上	—	60未満	—	—
グレード・ポイント	4	3	2	1	対象外	0		

※1 認定とは他大学などで修得した科目の単位を本学の単位として認めたもの

- (2) 各履修登録科目のグレード・ポイントに、科目の単位数をかけた値を履修登録科目分（卒業非算入科目を除く）合算し、その値を履修登録科目の単位数の合計で割ったものがGPAとなります。

なお、GPAは、小数点第3位を四捨五入して小数点第2位まで表示します。

GPAの算出方法（計算式）

$$\frac{\text{秀の単位数} \times 4.0 + \text{優の単位数} \times 3.0 + \text{良の単位数} \times 2.0 + \text{可の単位数} \times 1.0}{\text{登録単位数（不合格及び評価不能を含む）}}$$

#### [学期ごとのGPAと累積GPAについて]

GPAは次の2種類があります。

- (1) 学期ごとのGPA：当該学期（前期又は後期・通年）の履修登録科目の成績だけを対象として算出。
- (2) 累積GPA：入学時からの履修登録科目（成績評価の確定した科目）の成績を対象として算出。（学業成績証明書に表示）

#### [GPAに関する主な留意点について]

- (1) 不合格科目を再履修した場合、累積GPAには再履修後の成績のみ算入されます。ただし、学期ごとのGPAには再履修前と再履修後の成績がそれぞれ算入されます。
- (2) 定期試験で合格とならず、再試験を受験した科目は、再試験の評価でGPAを算出します。
- (3) GPA算出対象は、履修登録した科目のうち、卒業非算入科目（卒業要件単位に含まれない科目）を除くすべての科目となります。ただし、資格課程科目（学則に規定する教職課程科目）は、修得単位が卒業要件単位に算入される、されないにかかわらず、履修登録した科目すべてがGPAの算出対象となります。
- (4) 「履修登録できる単位数の上限制度（キャップ制）」では、累積GPAが3.00以上の場合、次学期に成績と単位の認定履修登録できる単位数が、定められている上限を超えて認められます。（学期ごとのGPAが3.00以上でも、累積GPAが2.99以下の場合は定められている上限を超えることは認められません。）
- (5) 1学期のGPAが1.2未満となった学生に対して、クラス担任及び当該学生の不得意科目担当教員は履修指導を行い、必要に応じて面談記録（又は指導記録）を保証人（保護者）に送付する。

### 3. GPAの成績表、成績証明書への表記

---

- (1) 成績表※1 及び成績証明書※2にGPAが記載されます。

※1 成績表は保証人が成績を確認するために配付されます。（学期ごとのGPA、累積GPAとも表示）

※2 成績証明書は就職や進学などで使用される対外的な証明書類として発行されます。（累積GPAのみ表示）

- (2) 成績証明書には、合格した授業科目の秀・優・良・可・（認定）の評価のみを記載し、不合格になった科目及び履修を中止した科目は記載されません。